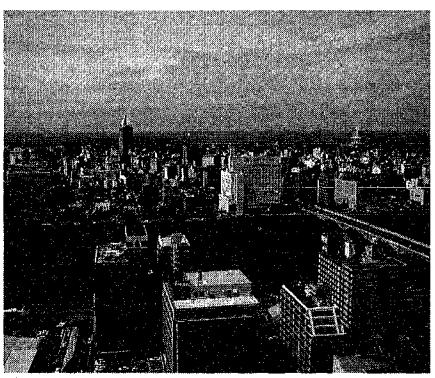
市報
にいがた
平成5年
6月20日
第1373号
発行日 毎週日曜日　発行 新潟市　〒951 学校町通1-602-1
編集 総務部広報課
印刷 ㈱第一印刷所

市の人口（5月末現在）
人口 480,789人（+453）
男 233,250人（+279）
女 247,539人（+174）
世帯数 169,959（+440）
住民基本台帳による。（）は前月比

市政の基本的指針
第4次総合計画を策定へ



市の行財政運営のあらゆる分野の基本的指針となる総合計画。市では、今年度から第四次総合計画の策定に取り掛かり、助役を委員長とする総合計画策定委員会と同策定プロジェクトチームを発足させ、平成五・六年度の二カ年で取りまとめます。

第一次総合計画が昭和四十三年にスタートして以来、その時代の社会経済情勢の変化に対応しながら数次の総合計画が策定されてきました。今回取り掛かる第四次総合計画は、現行の第三次総合計画が平成七年度で終了することから策定されるものです。

この新総合計画は二十世紀を締めくくり、次の世紀への懸け橋となるもので平成七年度から十七年度の十一年を計画期間としています。策定に当たっては、総合的な市民福祉の増進を基本に、市民の生活圏の拡大に対応した広域的な視点に立ったまちづくり、国土全体の中で新潟が果たすべき役割を認識した日本海側の中枢都市づくり、環日本海圏の形成をさらに押し進める国際的な拠点都市づくり、豊かな自然環境と健康で文化的な人間生活が調和した世界に誇れる美しいまちづくり――などの新たな視点を十分に考慮し、都市の魅力と活力が人々を引き付け、新潟らしいゆとりと豊かさを実感できるような提案・アンケート、市民懇談会、審議会などを実施し、市民の皆さんの要望や意見を反映させるものとしています。

また同計画は、先に発表された市の将来整備構想を提案した「にいがた21ビジョン」を尊重するほか、市民まちづくり――などの新たな視点を十分に考慮し、都市

総合計画　基本構想・基本計画・実施計画で構成
- **◉基本構想**　市の将来の発展や振興の方向を展望した、長期にわたる行政運営の根幹となるもの
- **◉基本計画**　人口・産業構造・土地利用など基本的な枠組みを規定し、施策の方向を体系的に明らかにするもの
- **◉実施計画**　基本計画で定めた施策を、現実の行財政の中で実施する具体的な施策を明らかにするもの

ウラジオストク新聞社・バクシン社長 長谷川市長を訪問
〝さらなる交流を期待〟

ウラジオストク新聞社のバクシン・バレリー・ビクトロビッチ社長が、六月七日、長谷川市長を表敬訪問しました。

席上、市長は「夏には毎日、新潟から極東ロシアに向け飛行機が飛び、ウラジオストク間には航路が開設される。こうしたことで、さらに多くの市民がさまざまな分野で交流を深めることになる。ウラジオストク新聞は新潟の情報を掲載するなど、高い貢献をしていただいている。この機会に新潟の実態をご覧いただきたい」と語りました。

ウラジオストク新聞社のバクシン社長は「両市は同じ海の両岸に位置し、飛行機でわずか一時間三十分で結ばれている。今後もさらに科学・文化の交流が盛んになることを期待している」と答えていました。

このほか、同市で初の直接市長選挙が行われることから、選挙制度や候補者などの話題が交わされました。同氏は西港や東港の視察、新田清掃センターの見学など市内を精力的に回り、十三日に新潟空港から帰国しました。

新潟まつり
まつり行列は8月7・8日に

真夏の一大イベント「新潟まつり」。今年は日程が変更され、八月八日に大民謡流し、九日に信濃川花火大会と連続で行われます。新潟の夏の夜を美しく飾りあげる三万人の踊り子と一緒に、皆さんご期待ください。

新潟まつり日程

八月七日　市民みこし
八月七・八日　まつり行列
八月八日　大民謡流し（流し踊り）
八月九日　信濃川花火大会

市民大スターマイン
参加者募集

まつり実行委員会では、皆さんの身近な祝い事を一つにまとめて大スターマインを打ち上げます。

あなたの思いを花火に込めて、大切な人に届けてみませんか。

打上日　八月九日信濃川花火大会中
募集金額　個人…一口五千円、団体…一口二万円
申し込み　六月三十日までに同実行委員会花火部事務局（産業企画課内☎内線2517番）へ
※申込書は郵送します。

大民謡流し
参加団体募集

大民謡流しの参加団体を募集しています。皆さん奮ってご参加ください。

申し込み　六月二十五日までに申込用紙で勤労福祉課（☎内線2532番）、市民謡連盟（☎229－1789）、新潟商工会議所（☎223－6271）へ

きみも市報をつくろう
子ども記者を募集

市報にいがたでは、昨年実施し好評だった「子ども特集」を今年も予定し、その企画・編集を行う子ども記者を募集します。

昨年は、小学生二グループと中学生二グループが参加し、「消防活動」「マリンピア日本海」「ごみ問題」「園芸センターとテレビ番組制作」に取り組みました。今年は子ども記者に企画を出してもらい、その取材を夏休み期間中に行ってもらいます。

取材内容は九月中旬の市報に掲載し、広報テレビ番組でも紹介します。なお、企画内容は市政に関係するもの、市政以外のもの、いずれでも結構です。応募要件などは次のとおりです。さあ友だちを誘って応募しよう。

応募要件　取材してみたい企画を簡単に書き、グループ全員の氏名（小学五年生以上五人以内）、学校名、学年、代表者の電話番号を記入して広報課（学校町通一☎内線2144番）へ

常設展「現代の美術」から
今週の一点⑬

元永定正（もとながさだまさ）
「作品83－03」（一九八三）
※八月二十二日まで同館で展示中

元永さんが抽象的な表現を始めたのは、地元の芦屋市展の展示作品を見たのがきっかけでした。一九五〇年代後半からは、戦後日本美術史上ひときわ華々しい存在である「具体」グループに参加。自然のコピーや変形ではなく、自然をつくること、という持論のもとで絵画制作を展開します。

写真の作品の左側。彼の初期作品に多いゆったりとした形が、小石を埋め込まれて実在感を獲得し、右方の、絵具の流動性を周到に利用した形体と見事な対照をみせます。（市美術館）

児童手当・特例給付
現況届の提出を

提出期限　6月30日
提出場所　児童福祉課、地区事務所、坂井輪・石山・鳥屋野連絡所
問い合わせ　児童福祉課（☎内線2616番）へ

夏物寄付衣料をおわけします

日時　6月26日午前11時～午後2時
会場　市社会福祉センター（八千代1）
頒布価格　10円～300円程度
※夏物衣料や日用雑貨などの寄付をあす21日から25日まで受け付けます
問い合わせ　市ボランティアセンター（☎243－4370）へ

園芸センター

◉家庭菜園講座
日時　6月22日午後1時半～3時半
テーマ　初夏まき野菜の作り方
定員　先着50人
申し込み　きょう20日から電話で会場へ
◉山野草展
日時　6月26・27日午前9時～午後4時半
内容　新潟野生ラン友の会作品250点

電話案内

市役所・市教育委員会
☎228-1000（代表）
野球場・テニスコートの申し込み…266－8111
園芸センター…286－1034
東保健所…243－5311
石山地区保健センター…286－4450
鳥屋野地区保健センター…285－2373
北地区保健センター…259－7332
西保健所…266－5171
西地区保健センター…262－3405
坂井輪地区保健センター…260－3255
急患診療（市医師会・県歯科医師会）
急患診療センター…228－2822
休日歯科診療センター…283－3030